

デバイス管理に関する相談

相談 1：中心静脈カテーテルのルート交換時期について

(相談内容)

中心静脈カテーテルのルート交換時期はどのくらいが適切ですか。

(回答)

血液、血液製剤、脂肪乳剤の投与を受けていない患者では、連続的に使用している点滴セット（延長チューブや三方活栓等の追加器具を含む）の交換は、使用開始から4日以上の間隔をあけること。最低限7日毎には交換しなければならないとされています。多くの研究データから輸液セットの使用開始後は72時間～96時間より高頻度に交換しない方が安全であり、費用対効果も優れていることが明らかになっています。

血液製剤や脂肪乳剤などの微生物が増殖しやすい輸液剤を注入する場合は、カテーテル関連血流感染のリスクファクターとされているため、より頻繁な輸液セットの交換が下記の通り勧告されています。

①血液、血液製剤、脂肪乳剤の投与に使用する輸液ラインは、注入開始から24時間以内に交換する。

②プロポフォール®の注入に使用する輸液ラインは、メーカーの勧告に従いバイアルの交換時に6時間毎または12時間毎に交換する。

埋込型ポートについては、「埋込型ポートのアクセスを目的とした針の交換頻度に関して勧告はできない」と記載されています。埋込型ポートへのアクセスに用いる針の留置期間およびカテーテル関連血流感染のリスクに関するデータは乏しいため、未解決事項となっています。輸液セットの交換頻度に合わせ最長7日以内で行うことが望ましいと考えます。

いずれの場合も、ガイドラインを参考に、各施設で交換頻度について基準を定める必要があります。

参考文献：CDC（米国疾病対策センター）、血管内カテーテル由来感染の予防のためのガイドライン 2011.